

令和８年度

第１回 高崎市 吉井地域振興協議会 次第

日 時：令和８年７月２７日（月）

午前１０時３０分～

場 所：吉井支所２階２０１・２０２会議室

１ 開 会

２ 挨 拶

３ 議 事

（１）吉井地域に関わる事業報告について

資 料 １

（２）吉井地域のまちづくりに関する意見について

資 料 ２

４ 閉 会

<配布資料>

資 料 １ 吉井地域に関わる事業報告一覧

資 料 ２ 吉井地域のまちづくりに関する意見一覧

参 考 資 料 令和８年度 当初予算の概要

吉井地域に関わる事業報告一覧

ページ	事 務 事 業 名	担 当 課 名 (支 所)
1	多胡碑周辺遺跡事業	教育部文化財保護課
3	高崎神流秩父線バイパス（矢田工区）道路事業	都市整備部都市計画課 (吉井支所建設課)
5	牛伏山を花で囲むプロジェクト	商工観光部観光課 (吉井支所産業課)
7	移住・定住促進対策	総務部企画調整課 (吉井支所地域振興課) 建設部建築住宅課 (吉井支所建設課)

吉井地域に関わる事業報告書

事務事業名	多胡碑周辺遺跡事業	所属 (支所)	教育部文化財保護課
実施期間	平成23年度～全期	事業の種類	ソフト・ハード事業

【事業概要】

対 象	遺跡の範囲確認、史跡指定地の公有地化		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
古代多胡郡に関する遺跡の広がりを確認し、国指定史跡上野国多胡郡正倉跡(令和2年3月10日指定)を適切に保護する。	発掘調査により多胡郡に関する遺構を確認する。また、上野国多胡郡正倉跡を後世に伝えていくため、史跡地の公有地化を進める。	発掘調査対象地 45 ヘクタール 指定面積 3.4 ヘクタール 平成23 年度～ 範囲確認調査 平成30 年度 調査報告書刊行 令和3 年度～ 公有地化	

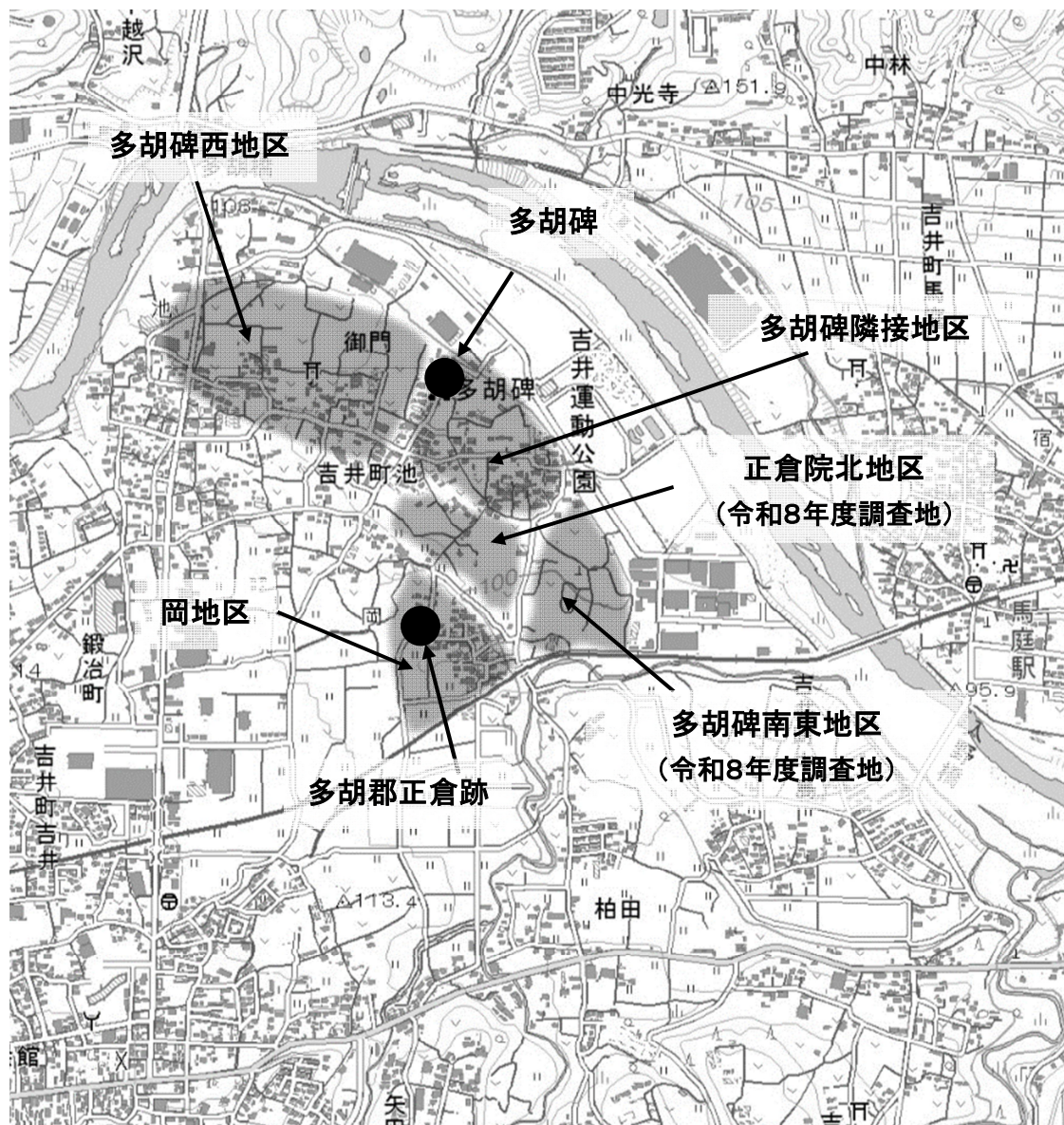
【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算 見込額	令和7年度事業実績
合計	35,513	35,485	・多胡碑南東地区、正倉院北地区の発掘調査 ・史跡地の公有地化(5 年目)
国	25,834	25,834	
県	651	651	
地方債	5,300	5,300	
その他	0	0	
一般	3,728	3,700	

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	令和8年度事業予定
合計	49,707	・多胡碑南東地区、正倉院北地区の発掘調査 ・史跡地の公有地化(6 年目)
国	36,988	
県	3,237	
地方債	5,500	
その他	0	
一般	3,982	

多胡碑周辺遺跡事業地を示す図



吉井地域に関わる事業報告書

事務事業名	高崎神流秩父線バイパス(矢田工区)道路事業	所属 (支所)	都市整備部都市計画課 (吉井支所建設課)
実施期間	平成29年度～令和13年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象			
実施目的	具体的手段	そ の 他	
多胡橋から国道254号川内交差点間の交通渋滞を緩和するためバイパス整備を行う。 また、平成30年度に開通した国道254号バイパスへのアクセスを容易にし、交通の円滑化を図り、吉井地域の発展に寄与する。	地域ニーズを反映した公共事業として、説明会やアンケート調査を実施して、地域住民とともに道路計画を策定した。 今後、用地買収・用地補償を行い、工事を進めていく予定。	全体延長 L=2,612m	

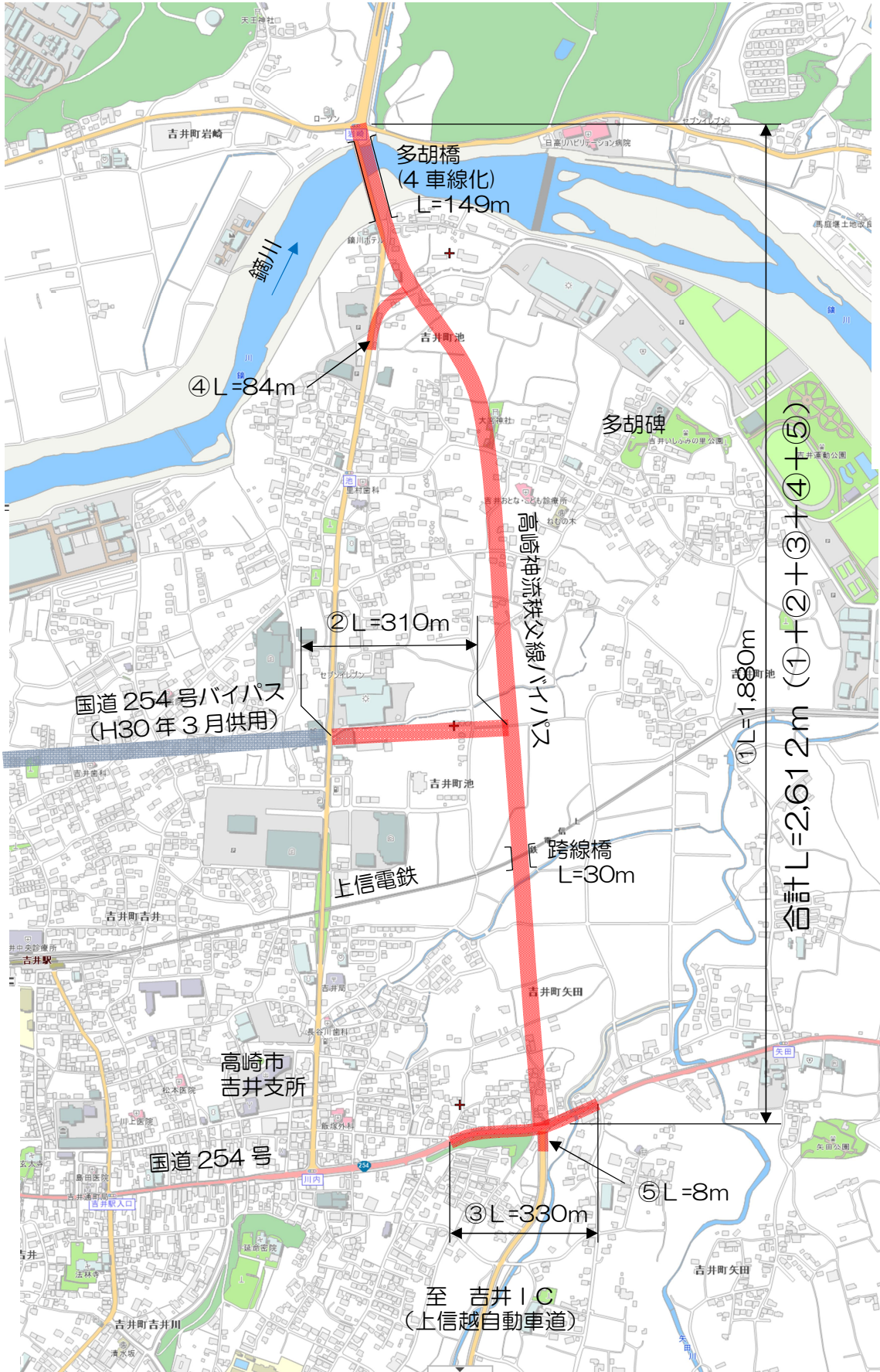
【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算 見込額	令和7年度事業実績
合計	341,660	341,660	・多胡橋下部工(A1 橋台) 完成 ・多胡橋下部工(A2 橋台) 完成 ・用地買収 一式 ・用地補償 一式 ・埋蔵文化財調査 一式
国	187,913	187,913	
県	153,747	153,747	
地方債			
その他			
一般			

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	令和8年度事業予定
合計	1,239,540	・多胡橋上部工工事中 ・多胡橋(A1)背面改良工事発注 ・多胡橋(A2)背面改良工事発注 ・用地買収 一式 ・用地補償 一式 ・埋蔵文化財調査 一式
国	681,747	
県	557,793	
地方債		
その他		
一般		

高崎神流秩父線バイパス（矢田工区）道路事業 案内図



吉井地域に関わる事業報告書

事務事業名	牛伏山を花で囲むプロジェクト	所属 (支所)	商工観光部観光課 (吉井支所産業課)
実施期間	令和6年度～令和10年度	事業の種類	ハード事業

【事業概要】

対 象			
実施目的	具体的手段	そ の 他	
牛伏山に四季折々の花木を植栽等整備することで、吉井地域の観光振興、森林環境の保全及び魅力向上を図る。	5カ年計画で花木の植栽や維持管理を実施する。また、地域住民やボランティアによる草刈りや美化活動も実施予定。		

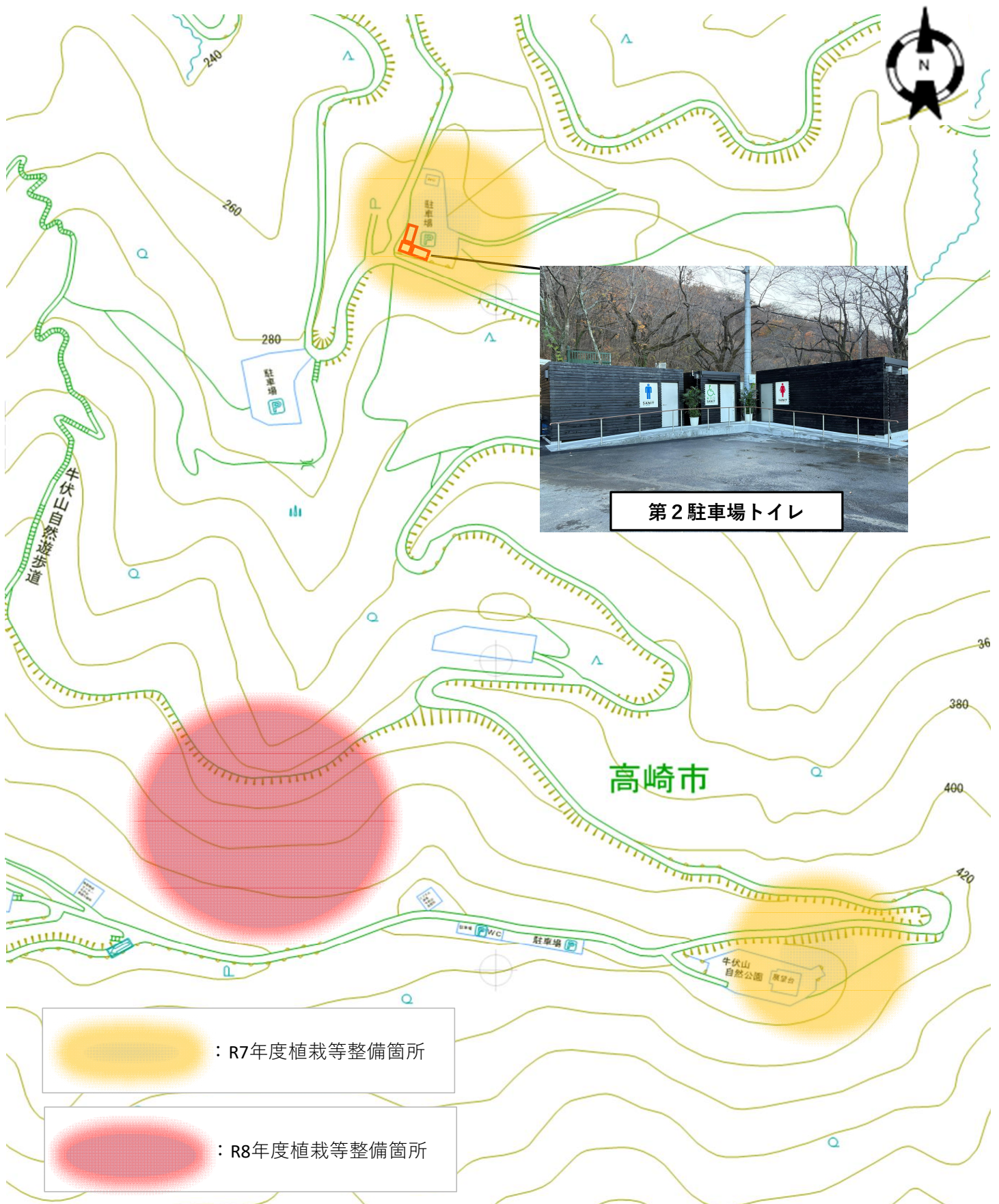
【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算 見込額	令和7年度事業実績
合計	50,100	50,058	・第2駐車場トイレ建替工事 ・第2期植栽等工事 ・樹木管理等委託 ・植栽等整備委託
国			
県	10,000	10,000	
地方債			
その他	29,664	29,622	
一般	10,436	10,436	

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	令和8年度事業予定
合計	40,100	・第3期植栽等工事 ・樹木管理等委託 ・植栽等整備委託
国		
県	10,000	
地方債		
その他	18,252	
一般	11,848	

牛伏山を花で囲むプロジェクト 位置図



吉井地域に関わる事業報告書

事務事業名	移住・定住促進対策	所属 (支所)	総務部企画調整課 (吉井支所地域振興課) 建設部建築住宅課 (吉井支所建設課)
実施期間	・移住促進資金利子補給金制度:平成28年度～ ・空き家緊急総合対策事業:平成26年度～ ・住環境改善助成事業:平成23年度～	事業の種類	ソフト事業

【事業概要】

対 象			
実施目的	具体的手段	そ の 他	
吉井・榛名・倉渕地域の人口減少対策として、同地域の移住・定住を促進する。	・移住促進資金利子補給金制度 ・空き家緊急総合対策事業 ・住環境改善助成事業	・対象地域内に移住するための住居取得に際して受けた融資の利子5年分を高崎通貨にて全額補給。 ・空き家の管理、活用を支援し吉井地域への移住定住を促進。 ・住環境向上のため改修、修繕等する場合に、かかる費用の最大20万円を助成。	

【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算 見込額	令和7年度事業実績
合計	311,372	298,251	・移住促進資金利子補給金制度 市全体 交付件数 515 件 吉井地域 交付件数 367 件 ・空き家緊急総合対策事業 市全体 件数 226 件 吉井地域 件数 15 件 ・住環境改善助成事業 市全体 件数 463 件 吉井地域 件数 40 件
国	—	—	
県	75,000	75,000	
地方債	—	—	
その他	—	—	
一般	236,372	223,251	

※予算額・決算見込額については、市の全体額。

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	令和8年度事業予定
合計	255,000	・移住促進資金利子補給金制度 予算 80,000 千円 ・空き家緊急総合対策事業 予算 90,000 千円 ・住環境改善助成事業 予算 85,000 千円
国	—	
県	75,000	
地方債	—	
その他	—	
一般	180,000	

※予算額については、市の全体額。

吉井地域のまちづくりに関する意見一覧

吉 井 支 所 地 域 振 興 課

■ 吉井地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意 見	回 答
1. 高齢者の見守りに ついて	吉井地域でも高齢化が進み、高齢者単身世帯や高齢者のみの世帯が増えていると思う。地域における支え合いの必要性が年々高まっていると感じるが、その役割を担う人材も限られており、将来に不安を感じている。 地域や行政、福祉関係者などが連携し、地域全体で支え合う仕組みづくりが必要だと考えるが、高崎市が行っている取り組みや対策について教えてほしい。	本市における地域での支え合いとしましては、地域における見守りの中核として日頃から活動されている「民生委員・児童委員」の皆様、ひとり暮らし高齢者への声かけ活動などを通じて、地域と高齢者をつなぐ重要な役割を担っていただいております。さらに、吉井地域を含めた市内29カ所に設置されている「高齢者あんしんセンター」とも連携し、支援を行っているところでございます。 また、市独自のサービスである「介護SOSサービス」や「力仕事SOSサービス」、安否確認のための「あんしん見守りシステム」や「はいかい高齢者救援システム」、見守りを兼ねた「配食サービス」など、高齢者の皆様の困りごとを支援する市のサービスもございますので、そういったサービスも組み合わせ、地域全体で高齢者を支えていく仕組みづくりを推進しております。 この4月から、本市では、高齢者の心身の健康づくりや社会参加・交流を推進するため「長寿会活動等促進事業補助」を開始いたしました。地域で元気にいきいきと暮らすことができるよう、長寿会での活動をはじめとする交流の場づくりや活性化に向けた活動を支援しておりますので、ぜひ積極的にご活用いただき、高齢者の方々が身近な場所で集い、交流を深める中で、見守りや支え合いができる環境づくりを進めていただきたいと考えております。

■ 吉井地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意 見	回 答
2. 移住支援対策について	最近、テレビなどのメディアにおいて、群馬県が移住希望先として非常に高い人気を集めていると報道されており、県外からの注目度も高まっている。地域の活性化には、人口減少への対策として、若い世代や子育て世代など、新たな住民を呼び込むことが重要だと思う。 吉井地域でも移住支援対策に力を入れていると思うが、これまでに実施してきた移住支援策の成果や課題、また今後の取り組みなどがあれば伺いたい。	本市では、首都圏からの移住者を増やし定住に結び付けるため、移住支援金として、単身者60万円、世帯100万円、18歳未満の子ども一人につき30万円を加算して交付する事業を行っています。これは国・県と市が支援するもので、全国の自治体が取り組む事業ですが、本市はR5年度98件、R6年度115件と申請件数が全国で1位となっており、本市の都市としての魅力などが全国的にも認知されてきている表れだと考えております。 また、地域を限った施策としまして吉井地域、倉渕地域、榛名地域において、移住のために住宅を取得した方の新築・中古住宅購入に係る借入金の利子を5年分全額補給します移住促進資金利子補給金事業を実施しております。この事業は、平成28年度から開始し、令和7年度末までで、市全体では903件、うち吉井地域は638件となっており、吉井地域の方に多くご利用いただき地域への定住を促進しているものと考えております。 他の取り組みとしては、移住先として本市の魅力をSNSで発信するPR事業等を実施しています。 移住・定住の促進には、これらの個別の施策だけでなく、本市が独自に展開している子育て「SOSサービス事業」をはじめとする子育て支援や高齢者支援などの各種施策を地道に実施することや、さらに都市としての機能を充実させるなど、本市全体の魅力を高めることが重要であると考えております。

■ 吉井地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意 見	回 答
3. 企業誘致と就労支援について	吉井地域は高速道路のインターチェンジが近く、首都圏からのアクセスがよい。これは企業誘致を進めるうえで大きな強みであり、広くアピールしていくべきだと思う。 市はこれまで企業誘致に力を入れてきたと思うが、吉井地域の強みを活かした誘致の促進や、若い世代の地元就職・定着を後押しするような就労支援策について、現在の取り組み状況や今後の対応があれば伺いたい。	企業誘致の取り組みといたしましては、市内に本社や工場などを立地する企業に対し奨励金を交付し、産業立地の促進や雇用機会の創出を図っております。内容といたしましては、新規立地に対して固定資産税相当額を5年間交付する施設設置奨励金をはじめ、市民を雇用した場合に交付する雇用促進奨励金がございます。 また、若い世代への就労支援策といたしまして、市内中小企業に就職した若者に対して、就職奨励金として10万円分の電子地域通貨を交付しており、若者の市内定着・流入の促進に努めているところでございます。 さらには、従業員がより良い環境で働けるよう、事業所の空調設備等の設置を支援する「職場環境改善事業」や、従業員の資格取得を支援する「資格取得支援事業」なども実施し、若い世代の就労につなげてもらう取り組みを継続しているところでございます。 このような取り組みを実施している中、特に、吉井地域につきましては、国道254バイパスの整備進捗による吉井インターチェンジへのアクセス機能の向上、また、吉井地域西部が甘楽スマートインターチェンジに近接していることなどを踏まえ、産業団地の整備などインフラの強化により、更なる経済活動の活性化が期待できる地域であると考えております。 今後の対応につきましては、これらの本市独自施策を継続するとともに、吉井地域の強みを活かした企業誘致ができるよう新たな産業団地の整備を進めてまいりたいと考えております。

令和8年度
(2026年度)

当初予算の概要

◇ 予算規模	1
◇ 一般会計予算の概要	2
1 歳入	
2 歳出(目的別)	
3 歳出(性質別)	
4 その他の資料	
◇ 【令和8年度当初予算の主要事業】	7

予 算 規 模

- ・ 一般会計 1,752億2,000万円（前年度対比＋6.4％）
- ・ 特別会計 814億5,993万円（前年度対比＋2.1％）
- ・ 水道事業会計 105億1,279万円（前年度対比＋0.9％）
- ・ 公共下水道事業会計 150億9,250万円（前年度対比＋2.8％）
- ・ 総予算 2,822億8,522万円（前年度対比＋4.7％）

〈各会計別予算〉

会 計 別	令 和 8 年 度 予 算 額	令 和 7 年 度 予 算 額	増減率
一 般 会 計	1,752 億 2,000 万円	1,647 億 0 万円	6.4
特 別 会 計	814 億 5,993 万円	797 億 9,572 万円	2.1
国民健康保険事業特別会計	335 億 8,678 万円	336 億 7,345 万円	△ 0.3
介護保険特別会計	400 億 9,671 万円	394 億 1,453 万円	1.7
牛伏ドリームセンター事業特別会計	1 億 3,577 万円	1 億 2,820 万円	5.9
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	7,112 万円	1 億 870 万円	△ 34.6
後期高齢者医療特別会計	74 億 7,494 万円	63 億 7,987 万円	17.2
農業集落排水事業特別会計	9,461 万円	9,096 万円	4.0
小 計	2,566 億 7,993 万円	2,444 億 9,572 万円	5.0
水道事業会計	105 億 1,279 万円	104 億 1,836 万円	0.9
公共下水道事業会計	150 億 9,250 万円	146 億 8,780 万円	2.8
合 計	2,822 億 8,522 万円	2,696 億 188 万円	4.7

※万円未満四捨五入。計欄の予算額と各会計の予算額の合計は一致しません。

一般会計は6.4%の増

主な新規・拡大事業

- ・ 体育施設への空調設備設置 0.6億円（新規）
- ・ 窓口ＤＸ事業 0.4億円（新規）
- ・ 放課後児童クラブの充実 13.3億円（＋1.9億円）
- ・ 児童相談所の運営 11.9億円（新規）
- ・ 長寿会活動等促進事業への補助 0.5億円（新規）
- ・ 出産祝い金の交付 0.6億円（新規）
- ・ 小栗公ゆかりの地観光促進事業 1.6億円（新規）
- ・ 堤ヶ岡飛行場跡地地区まちづくり事業 0.4億円（新規）
- ・ 豊岡だるま駅設置事業 15.9億円（＋7.3億円）
- ・ スマートＩＣ周辺集客施設等整備 6.7億円（＋5.7億円）
- ・ 烏川かわまちづくり整備事業 3.8億円（＋3.1億円）
- ・ 市内全小学校の早朝開門 0.2億円（新規）
- ・ 学力アップ推進事業 0.5億円（＋0.1億円）
- ・ 学校体育館及び給食室への空調設備設置 6.2億円（＋0.6億円）
- ・ 小中学校給食費の完全無償化 17.5億円（＋7.3億円）
- ・ 公共施設の照明ＬＥＤ化工事 16.7億円（＋15.0億円）

主な終了・縮小事業

- ・ 国勢調査 終了（△1.9億円）
- ・ 新型コロナウイルス感染症個別予防接種委託料 縮小（△4.0億円）
- ・ 労使会館建設事業 終了（△0.9億円）
- ・ 市街地再開発事業 縮小（△4.0億円）

特別会計は2.1%の増

- ・ 国民健康保険事業特別会計 保険給付費の減額
- ・ 介護保険特別会計 介護サービス給付費等の増額
- ・ 後期高齢者医療特別会計 保険給付費負担金の増額

一般会計予算の概要

1 歳入

(単位：千円、%)

区 分	令和8年度		令和7年度		増 減 額	増減率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1 市 税	67,425,160	38.5	66,739,753	40.5	685,407	1.0
2 地方譲与税	1,285,720	0.7	1,309,025	0.8	△ 23,305	△ 1.8
3 利子割交付金	100,000	0.1	54,000	0.0	46,000	85.2
4 配当割交付金	500,000	0.3	400,000	0.3	100,000	25.0
5 株式等譲渡所得割交付金	700,000	0.4	720,000	0.4	△ 20,000	△ 2.8
6 法人事業税交付金	1,100,000	0.6	1,200,000	0.7	△ 100,000	△ 8.3
7 地方消費税交付金	10,500,000	6.0	10,000,000	6.1	500,000	5.0
8 ゴルフ場利用税交付金	90,000	0.1	90,000	0.1	-	-
9 環境性能割交付金	1	0.0	210,000	0.1	△ 209,999	△ 100.0
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	24,887	0.0	24,887	0.0	-	-
11 地方特例交付金	607,543	0.3	410,001	0.3	197,542	48.2
12 地方交付税	18,700,000	10.7	14,900,000	9.1	3,800,000	25.5
うち普通交付税	16,800,000	9.6	13,000,000	7.9	3,800,000	29.2
13 交通安全対策特別交付金	60,000	0.0	70,000	0.0	△ 10,000	△ 14.3
14 分担金及び負担金	340,129	0.2	329,738	0.2	10,391	3.2
15 使用料及び手数料	2,534,772	1.4	2,522,247	1.5	12,525	0.5
16 国庫支出金	30,400,934	17.3	27,987,365	17.0	2,413,569	8.6
17 県支出金	14,116,277	8.1	12,310,722	7.5	1,805,555	14.7
18 財産収入	301,310	0.2	286,606	0.2	14,704	5.1
19 寄附金	1,500,006	0.9	750,006	0.5	750,000	100.0
20 繰入金	6,002,055	3.4	5,824,835	3.5	177,220	3.0
うち財政調整基金繰入金	3,250,000	1.9	2,850,000	1.7	400,000	14.0
21 繰越金	1	0.0	1	0.0	-	-
22 諸収入	13,882,805	7.9	15,211,514	9.2	△ 1,328,709	△ 8.7
23 市 債	5,048,400	2.9	3,349,300	2.0	1,699,100	50.7
合 計	175,220,000	100.0	164,700,000	100.0	10,520,000	6.4

- ◆ 市税は、674億2,516万円を計上しました。市民税個人は、所得や労働人口の実績等を反映させ前年度対比1.6%増の243億6,676万円、市民税法人は、景気の状態や企業業績等を踏まえ、前年度対比7.1%減の58億4,577万円、固定資産税は、大規模建物の建設及び企業の設備投資が見込めることから、前年度対比2.3%増の276億5,697万円を見込みました。
- ◆ 地方消費税交付金は、消費の伸びや実績等を勘案し、前年度対比5.0%増の105億円を見込みました。
- ◆ 環境性能割交付金は、環境性能割(自動車税)が廃止されることから存目としました。
- ◆ 地方特例交付金は、暫定税率(地方揮発油税)及び環境性能割(自動車税、軽自動車税)廃止に伴う減収額への補填を踏まえ、前年度対比48.2%増の6億754万円を見込みました。
- ◆ 普通交付税は、令和7年度の実績額に地方財政対策等を勘案するとともに、児童相談所運営による増額を踏まえ、前年度対比29.2%増の168億円を見込みました。
- ◆ 基金繰入は、財政調整基金から32.5億円(前年度28.5億円)、減債基金から8億円(前年度16.7億円)のほか、ふるさと応援基金から18億円(前年度10.5億円)等を計上しました。
- ◆ 市債は、市有施設における照明設備のLED化、豊岡だるま駅設置及び公園整備等の建設等事業債が増加することなどから、前年度対比50.7%増の50億4,840万円を計上しました。

2 歳出(目的別)

(単位：千円、%)

区 分	令和 8 年度		令和 7 年度		増 減 額	増減率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1 議会費	668,584	0.4	672,945	0.4	△ 4,361	△ 0.6
2 総務費	20,429,816	11.7	17,881,245	10.9	2,548,571	14.3
3 民生費	75,384,725	43.0	70,381,108	42.7	5,003,617	7.1
4 衛生費	10,777,290	6.1	10,707,695	6.5	69,595	0.6
5 労働費	196,526	0.1	254,708	0.1	△ 58,182	△ 22.8
6 農林水産業費	1,862,324	1.1	1,801,732	1.1	60,592	3.4
7 商工費	14,931,343	8.5	15,241,474	9.2	△ 310,131	△ 2.0
8 土木費	14,465,546	8.2	12,775,576	7.8	1,689,970	13.2
9 消防費	4,842,223	2.8	4,722,602	2.9	119,621	2.5
10 教育費	17,854,485	10.2	16,083,447	9.8	1,771,038	11.0
11 災害復旧費	6	0.0	6	0.0	-	-
12 公債費	13,507,132	7.7	13,877,462	8.4	△ 370,330	△ 2.7
13 予備費	300,000	0.2	300,000	0.2	-	-
合 計	175,220,000	100.0	164,700,000	100.0	10,520,000	6.4

- ◆ 総務費は、定年退職手当の増加やふるさと納税の増加に伴う基金への積立金等の増加により、前年度対比25億4,857万円、14.3%の増額となっています。
- ◆ 民生費は、児童相談所の運営費や子どものための教育・保育給付費、障害福祉費の増加などにより、前年度対比50億362万円、7.1%の増額となっています。
- ◆ 衛生費は、新型コロナウイルス感染症予防接種等が減少する一方、総合保健センターの照明LED化工事等の増加により、前年度対比6,960万円、0.6%の増額となっています。
- ◆ 労働費は、労使会館建設事業の減少などにより、前年度対比5,818万円、22.8%の減額となっています。
- ◆ 商工費は、小栗公ゆかりの地観光促進事業等が増加する一方、金融機関への預託金や榛名湖温泉ゆうすげ空調設備更新工事等の減少により、前年度対比3億1,013万円、2.0%の減額となっています。
- ◆ 土木費は、豊岡だるま駅設置事業やスマートIC周辺集客施設等整備、烏川かわまちづくり整備等の増加により、前年度対比16億8,997万円、13.2%の増額となっています。
- ◆ 消防費は、吉井方面隊第1分団詰所改築工事が減少となる一方、高崎市・安中市消防組合負担金等の増加により、前年度対比1億1,962万円、2.5%の増額となっています。
- ◆ 教育費は、学校施設や中央図書館等の照明LED化工事や高崎経済大学への運営費交付金等の増加により、前年度対比17億7,104万円、11.0%の増額となっています。

3 歳出(性質別)

- ・ 人件費、扶助費、公債費の義務的経費… 8 9 5 億 7, 0 2 7 万円、前年度対比 5. 9 %の増
- ・ 建設事業などの投資的経費… 1 3 3 億 8, 7 1 4 万円、前年度対比 2 8. 0 %の増

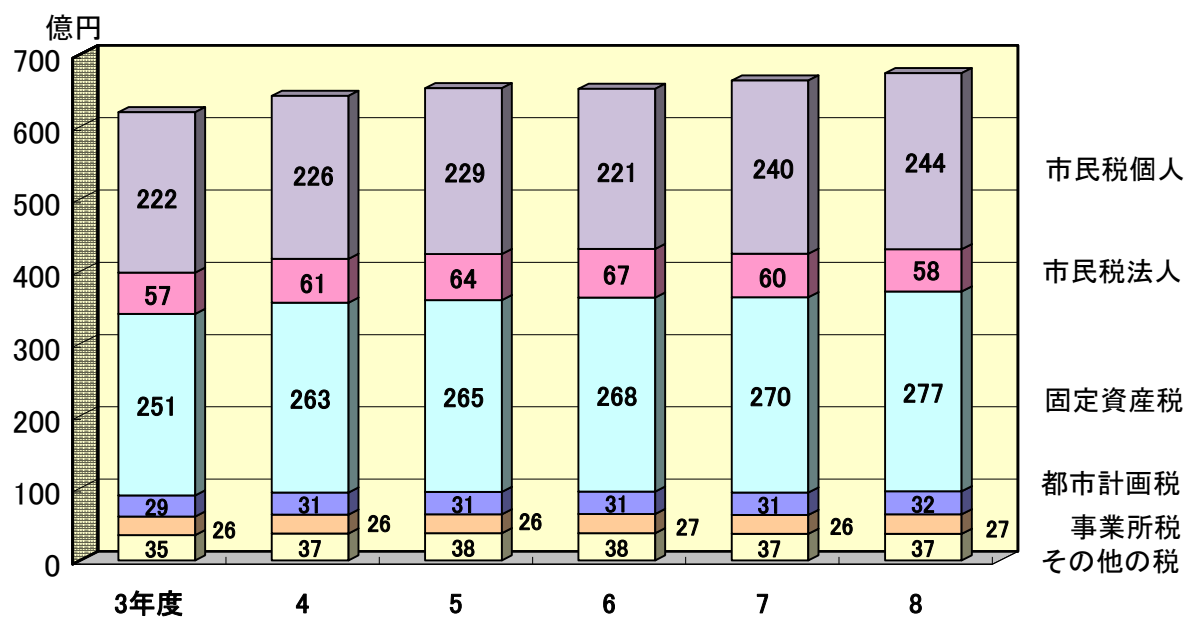
(単位：千円、%)

区 分	令和 8 年度		令和 7 年度		増 減 額	増減率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
(1) 義務的経費	89, 570, 269	51. 1	84, 592, 791	51. 4	4, 977, 478	5. 9
① 人件費	27, 529, 641	15. 7	26, 061, 380	15. 8	1, 468, 261	5. 6
② 扶助費	48, 533, 496	27. 7	44, 653, 949	27. 1	3, 879, 547	8. 7
③ 公債費	13, 507, 132	7. 7	13, 877, 462	8. 5	△ 370, 330	△ 2. 7
(2) 投資的経費	13, 387, 136	7. 6	10, 456, 553	6. 3	2, 930, 583	28. 0
① 普通建設事業	13, 387, 130	7. 6	10, 456, 547	6. 3	2, 930, 583	28. 0
補助事業	4, 930, 898	2. 8	4, 019, 326	2. 4	911, 572	22. 7
単独事業	8, 202, 544	4. 7	6, 110, 570	3. 7	2, 091, 974	34. 2
県営事業負担金	253, 688	0. 1	326, 651	0. 2	△ 72, 963	△ 22. 3
② 災害復旧事業	6	0. 0	6	0. 0	-	-
(3) その他経費	72, 262, 595	41. 3	69, 650, 656	42. 3	2, 611, 939	3. 8
① 物件費	25, 980, 169	14. 8	24, 985, 452	15. 2	994, 717	4. 0
② 補助費等	22, 391, 791	12. 8	21, 667, 480	13. 1	724, 311	3. 3
③ 貸付金	11, 076, 565	6. 3	11, 308, 081	6. 9	△ 231, 516	△ 2. 0
④ 繰出金	9, 925, 211	5. 7	9, 554, 153	5. 8	371, 058	3. 9
⑤ その他	2, 888, 859	1. 7	2, 135, 490	1. 3	753, 369	35. 3
合 計	175, 220, 000	100. 0	164, 700, 000	100. 0	10, 520, 000	6. 4

- ◆ 人件費は、定年退職手当や職員の給与改定に伴う影響などにより、前年度対比14億6,826万円、5.6%の増額となっています。
- ◆ 扶助費は、障害福祉費や保育所等への給付費の増加に加え、児童相談所の開設などにより、前年度対比38億7,955万円、8.7%の増額となっています。
- ◆ 普通建設事業は、労使会館の建設工事費等が減少する一方、豊岡だるま駅設置事業、スマートIC周辺集客施設等整備事業、烏川かわまちづくり整備事業及び市有施設における照明設備のLED化による工事費等の増加により、前年度対比29億3,058万円、28.0%の増額となっています。
- ◆ 物件費は、新型コロナウイルス感染症予防接種が減少する一方、物価高騰や人件費の上昇による委託費などへの影響により、前年度対比9億9,472万円、4.0%の増額となっています。
- ◆ 補助費等は、中小企業経営安定化助成金等が減少する一方、後期高齢者医療広域連合への負担金や高崎経済大学への運営費交付金等の増加により、前年度対比7億2,431万円、3.3%の増額となっています。
- ◆ 繰出金は、介護保険特別会計や後期高齢者医療特別会計における保険給付費等負担金の増加などにより、前年度対比3億7,106万円、3.9%の増額となっています。

4 その他の資料

(1) 地方税の推移(見込み)

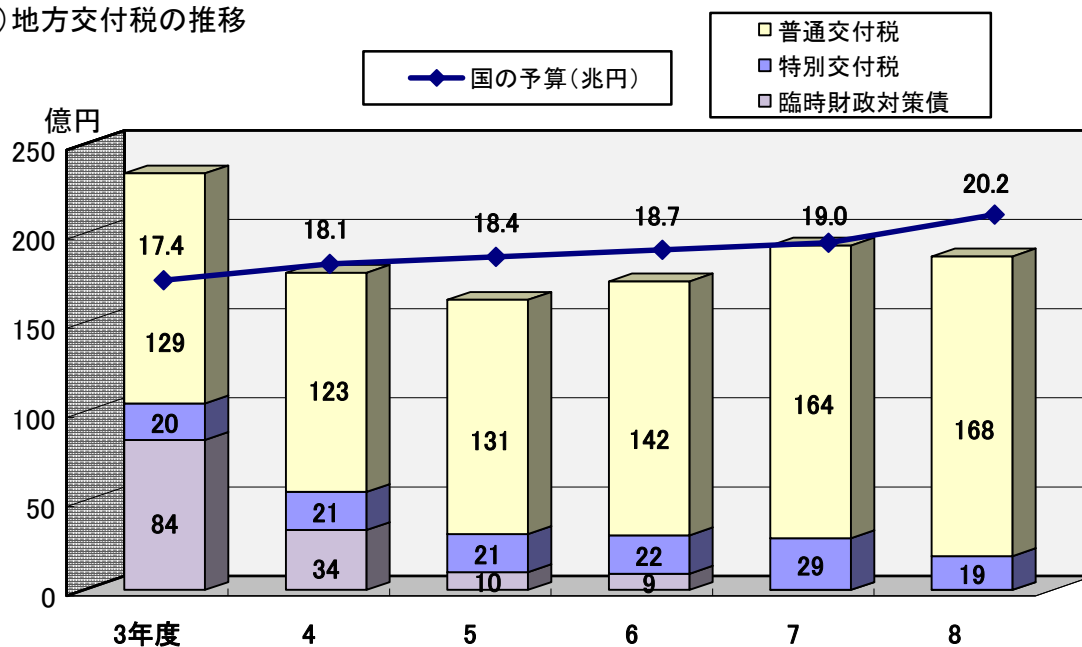


※3年度から6年度までは決算額

※7年度は現計予算額

※8年度は当初予算額

(2) 地方交付税の推移

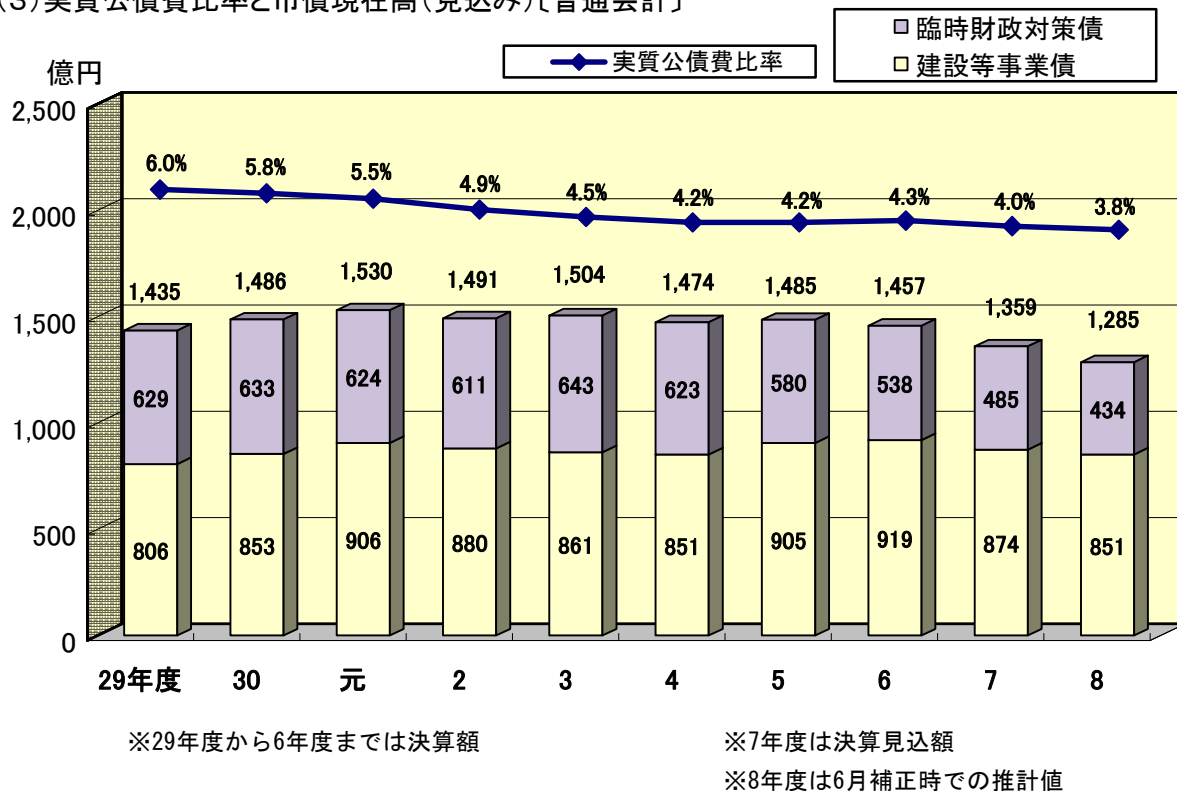


※3年度から6年度までは決算額

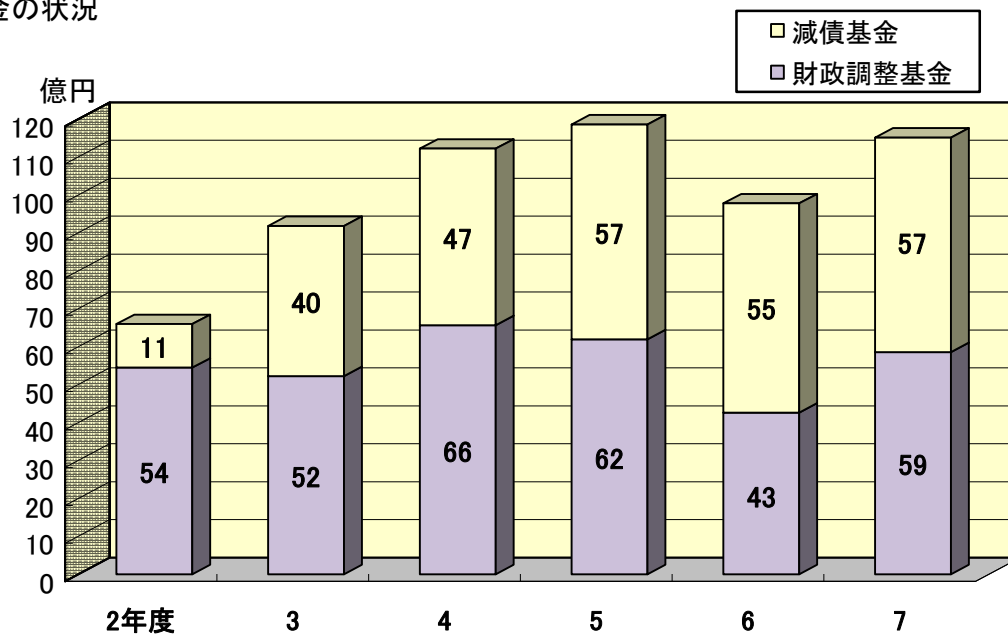
※7年度は決算見込額

※8年度は当初予算額

(3) 実質公債費比率と市債現在高(見込み)〔普通会計〕



(4) 基金の状況



※2年度から6年度までは決算額

※7年度は決算見込額

※後年度の臨時財政対策債の償還金として交付税措置された金額を、3年度に減債基金への積立を行っている（約23.0億円）。

【令和8年度当初予算の主要事業】

《教育と人づくり》

事業概要	予算額
(1) 市内全小学校の早朝開門 高崎市立の全小学校の早朝開門を実施することにより、子育て世帯を支援するとともに、朝早くから登校しなくてはならない児童の安全を確保する。	千円 19,446
(2) くらぶち英語村運営事業 全国の小中学生を対象に、倉渕地域の豊かな自然環境、農山村の生活文化及び歴史的資源を活用し、生きた英語に囲まれた環境の中で集団生活及び自然体験を行う山村留学を実施する。	170,588
(3) ヤングケアラーSOSサービス事業 家族の介護や家事、きょうだいの世話等をするヤングケアラーの負担を軽減するため、無料でサポーターを派遣し支援を行う。	87,428
(4) 学力アップ推進事業 放課後や土曜日等を活用した学習会を開催し、算数・数学を中心に基礎的、基本的な内容について学び、児童生徒の学習意欲の向上等を図る。令和8年度から、全小中学校において英語学習を開始する。	53,827
(5) 榛名室田地区3小学校統合経費 榛名室田地区の3小学校（上室田小・中室田小・下室田小）の統合により、令和9年4月1日に新たに室田小学校を設置するための準備を行う。	15,650
(6) 学校図書の充実 小・中学校の図書を充実させ、本に親しみ、豊かな心を育むことのできる学校図書館の環境整備を図る。	43,950
(7) 学校施設維持補修等の推進 学校施設の環境改善を図るため、外壁や設備改修等の工事を重点的に行う。 ・外壁改修工事 95,500千円 ・給水設備等改修工事 98,200千円	431,680
(8) 学校体育館への空調設備設置 学校体育館への空調設備の設置を進めることにより、学校活動における熱中症等の健康被害を防ぐとともに、災害時における避難者の生活環境の改善を図る。10校への設置を継続して進め、令和8年度で中学校が完了し、小学校に着手する。	534,361
(9) 小中学校給食費の完全無償化 令和8年度から、国等の交付金を活用した小学校給食費の完全無償化の実施に加え、市独自に中学校給食費の完全無償化を実施する。また、急激な食材価格の高騰に伴い、保護者負担が生じないように、引き続き給食材料費の高騰分を公費で負担する。	1,752,987
(10) GIGAスクール構想の推進 小、中、特別支援学校及び高崎経済大学附属高等学校に配備した1人1台のタブレット端末を利活用し、授業における学習内容をより深化・定着させるよう学習活動の充実を図る。	306,969

《産業の振興》

事業概要	予算額
(1) 農業の振興（地産多消の推進） ・ 農業者新規創造活動事業補助 120,000千円 新品種・新商品の開発や、商工業者と連携した6次産業化の推進のほか、市内産農畜産物の販路拡大に向けた取り組みに挑戦する農業者を総合的に支援する。 ・ 農地再生推進事業補助 80,000千円 ・ かがやけ新規就農者応援給付金 13,500千円	千円 213,500
(2) 地元企業への支援策 ・ 中小企業経営安定化助成 370,000千円 ・ 職場環境改善事業 100,000千円 ・ まちなか経済情報センター事業 11,000千円 ・ 中小企業者資格取得支援事業 14,000千円 ・ まちなか商店リニューアル助成 280,000千円 ・ 飲食店衛生向上リニューアル特別助成 45,000千円 ・ 住環境改善助成 85,000千円	905,000
(3) ビジネス誘致の推進 市内への企業誘致の促進や市内企業の定着を推進するための取り組みを支援する。 ・ 高崎シティプロモーション事業補助 27,000千円 ・ 産業立地振興奨励金 358,286千円 ・ ビジネス立地奨励金 536,231千円	921,517
(4) スマートＩＣ周辺集客施設等整備 産業団地Ａ地区及びＢ地区における集客施設の整備に伴い、施設利用者の利便性や交通安全対策等のため、両地区を結ぶ連絡橋等の工事を行うとともに、運営事業者への出資を行う。	669,377

《文化と歴史を活かした創造的な高崎》

事業概要	予算額
(1) 文化事業の振興 芸術文化活動の育成・促進や地域の文化活動を支援し、賑わいを創出する。 ・ まちなか音楽活動助成事業補助 11,000千円 ・ TAKASAKI CITY ROCK FES. の開催 50,000千円	千円 315,932
(2) スポーツの振興 ・ スポーツイベント等開催支援 40,128千円 ・ 高崎市民スポーツパーク（仮称）の整備 93,200千円 ・ 体育施設への空調設備設置 57,040千円	318,868
(3) 歴史を活かしたまちづくり ・ 小栗公ゆかりの地観光促進事業 161,629千円 2027年放送のNHK大河ドラマで描かれる小栗公終焉の地である倉渕地域の魅力発信をはじめ、本市全域の観光促進を図るため、記念館建設への支援やPR活動を行う。 ・ 「世界の記憶」上野三碑の保存活用 30,568千円 ・ 多胡碑記念館リニューアル事業 30,000千円 ・ 史跡等の保存整備及び発掘調査 172,798千円	418,095

《やさしい眼差しに満ちた市政》

事 業	概 要	予 算 額
		千円
(1) 子育て関連支援		2,151,733
・ 子育てＳＯＳサービス事業	41,879千円	
・ 保育所入所待機解消支援事業	114,000千円	
・ 保育所等整備事業費補助	240,340千円	
・ 病児・病後児保育や一時預かり保育の支援	283,955千円	
・ 保育・介護人材確保事業	34,000千円	
・ 「気になる子」支援	57,880千円	
・ 公立保育所緊急修繕・整備	46,200千円	
・ 放課後児童クラブの充実	1,333,479千円	
放課後児童クラブに関する「運営にかかる保護者負担の軽減」や「支援員の確保」に対する支援を新たに行い、児童の健全育成環境のさらなる充実を図る。		
(2) 児童相談所の運営		1,188,197
「高崎の子どもは高崎で守る」の理念のもと、「行動する児童相談所」として、各種事業を実施する。		
(3) 福祉の充実		1,667,354
・ 障害児等特別助成	6,000千円	
・ 障害者支援ＳＯＳセンターの運営	12,117千円	
・ 倉渕就労継続支援施設運営事業	37,692千円	
・ 長寿会活動等促進事業補助	50,000千円	
・ おとしよりぐるりんタクシーの運行	300,031千円	
・ 介護ＳＯＳサービス事業	89,000千円	
・ 高齢者力仕事ＳＯＳサービス事業	95,133千円	
・ 出張理美容サービス委託	2,617千円	
・ 高齢者等あんしん見守りシステムの充実	420,439千円	
・ 高齢者あんしんセンターの運営	640,210千円	
・ 高齢者福祉なんでも相談センターの運営	14,115千円	
(4) 救急医療体制の充実		288,732
・ 救急患者の受入促進	72,730千円	
・ 救急患者受入体制整備支援	49,000千円	
・ 脳卒中患者受入体制強化	40,000千円	
・ 心疾患患者受入強化	7,500千円	
・ ドクターカー購入支援補助	5,028千円	
(5) 小児救急医療体制の充実		51,465
・ 小児救急医療体制整備補助	21,500千円	
・ 夜間小児救急医療体制の確保	11,265千円	
・ 小児救急医師の確保	18,700千円	
(6) 母子健康支援事業の充実		647,762
・ 妊婦初回産科受診料助成	9,000千円	
・ 妊婦健康診査特別助成	22,000千円	
・ 不妊・不育症治療費助成	141,018千円	
・ 産婦健康診査	21,132千円	
・ 産後ケア事業	110,036千円	
・ 小児慢性特定疾病医療費等特別助成	6,170千円	
・ 特定疾病小児等特別支援	28,600千円	
・ 妊婦等のための支援事業	246,603千円	
・ 出産お祝い金交付事業	63,203千円	

《合併した地域の個性を活かした魅力づくり》

事業概要	予算額
(1) 箕郷多目的運動場（仮称）の整備 高齢者をはじめとする多世代の人が気軽に運動できる施設として地域の防災拠点機能も兼ね備えた多目的運動場を整備する。	千円 202,780
(2) 榛名湖周辺の観光振興 観光スポットとして人気の高い榛名湖の更なる誘客を図るため、ロックコンサート等のイベントを開催できる湖上ステージ等を整備する。	128,366
(3) 牛伏山を花で囲むプロジェクトの推進 森林環境譲与税を活用して、牛伏山自然公園を5か年計画で整備し、四季折々の花木を植栽することで周辺地域のさらなる魅力向上を図る。	40,100
(4) 倉淵・榛名・吉井地域への移住・定住を促進	80,000
(5) 市内全域の道路の維持・補修 ・道路補修工事 333,000千円 ・支所地域維持補修工事 210,000千円	882,507
(6) 高崎市合併20周年記念式典開催事業	10,000

《安心・安全な地域社会づくり》

事業概要	予算額
(1) 防災対策事業の推進 ・消防団車両の充実 51,000千円 ・自主防災組織への支援 21,000千円	千円 83,715
(2) 道路穴ぼこ改修特別整備 健全な道路環境を保持し、市民生活の安心安全を確保するために緊急舗装工事を5か年で集中的に実施する。	200,000
(3) 交通安全対策 ・交通安全施設整備工事 98,000千円 ・通学路安全対策工事 22,000千円 ・踏切保安設備整備事業補助 50,877千円	170,877
(4) 防犯対策事業の推進 ・住まいの防犯対策補助 10,000千円 ・自警団パトロール活動補助 19,400千円	29,400
(5) 高齢者等のごみ出し支援 自身でのごみ出しが困難な高齢者世帯等を対象に、戸別訪問によるごみ収集を実施する。	148,050
(6) 窓口DX事業 転入手続き等に係る待ち時間の短縮や利便性の向上を図るため、届出書等の記載負担を軽減する「窓口支援システム」及びキャッシュレス決済対応のセミセルフレジを導入する。	44,042
(7) 区長報酬等の増額	571,000

《大勢の人が歩き、賑わう街》

事 業	概 要	予 算 額
(1) 中心市街地の活性化と観光施策の拡充		千円 263,989
・ 高崎じまん等の支援	100,240千円	
・ お店ぐるりんタクシーの運行	39,749千円	
・ 高崎の食発信事業	40,000千円	
・ 高崎だるま市開催補助	14,000千円	
・ 高崎まつり補助	70,000千円	
(2) 豊岡だるま駅設置事業		1,585,284
公共交通網の強化と地域住民の利便性向上のため、J R信越本線北高崎駅・群馬八幡駅間に新駅を設置する。		
(3) 市街地再開発事業		1,016,394
・ 高崎駅東口栄町地区	716,394千円	
・ 宮元町第二地区	300,000千円	
(4) まちなか小さな公園美化大作戦5か年計画		228,145
街中にある小さな公園を計画的に美化することにより、地域住民の憩いの場となるよう整備を行う。		
(5) 烏川かわまちづくり整備事業		379,408
烏川と街中との回遊性を高めるとともに、更なる水辺空間の魅力向上や高崎産フルーツなど農産物のブランド化を図るため、地域や民間と連携し、主に榛名地域の果物を提供するレストハウスを新たに整備する。		
(6) 空き家緊急総合対策助成		90,000
全国で問題となっている空き家に対する総合的かつ効果的な支援策として、老朽化した危険空き家の解体費や、サロン、事務所・店舗または居住目的のための空き家改修費等に係る経費への助成を引き続き実施する。		